

平成15年3月27日

各位

会社名 FDK株式会社  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 惟司  
(コード番号 6955 東証第一部)  
問合せ先 財務経理部長 川崎 健司  
TEL (03)3434-1271

当社の親会社 富士通株式会社  
代表者名 代表取締役社長 秋草 直之  
(コード番号 6702 東証、大証、名証各市場第一部)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年10月29日の中間決算発表時に公表した平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正

連結通期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	95,300	900	3,100	4,500
今回予想(B)	85,300	300	5,400	6,500
増減額(B-A)	10,000	600	2,300	2,000
増減率	10.5	66.7	-	-
(ご参考)前期実績	100,613	226	4,071	12,308

単独通期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	66,000	500	2,460	3,700
今回予想(B)	62,500	100	4,210	5,500
増減額(B-A)	3,500	400	1,750	1,800
増減率	5.3	80.0	-	-
(ご参考)前期実績	84,581	493	2,416	11,542

##### 2. 修正の理由

北米に端を発した通信市場の崩壊により短期的には需要回復が望めない光部品事業を除き、電子部品市場は底を打ち、緩やかではありますが回復に向かってしていると判断されます。しかし、当年度下半期において、電子材料製品は、供給能力が大幅に需要を超過している中で受注競争が激化するとともに市場価格の下落が予想を上回るスピードで進みました。またハイブリッドモジュールは大口顧客の計画が当初計画より大きくなり、その影響を受けました。その他の製品においても厳しい価格競争の影響を受けており、売上および損益の両面で、前回予想を下回る見通しであります。

以上

##### (注意事項)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、業況の変化等により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

本リリースは、証券取引法166条に定められた「重要事実」に該当する情報を含んでおります。本リリースをご覧になられた場合は、インサイダー取引規制に関する「第一次情報受領者となり、公開後12時間以内(日本時間2003年3月28日、午前3時頃まで)に当社株式の売買等を行うことは禁止されますのでご注意ください。